

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第27週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,635例あり、先週(1,751例)の約2.1倍となった。2022年の累積報告数は57,061例となった。

□ 全数報告の感染症 (27週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	結核性胸膜炎	咳
			80歳代	男	皮膚結核	なし
		都城	80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日南	80歳代	男	結核性胸膜炎	なし
5類	梅毒	延岡	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 新型インフルエンザ等感染症 (27週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 3,635例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群										症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
宮崎市	1,760例	368	421	141	245	265	127	90	71	20	12	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	846例	209	137	107	136	106	60	44	35	7	5	
延岡	379例	41	42	52	54	49	51	35	22	22	11	
日南	73例	6	14	17	15	5	4	10	2	-	-	
小林	115例	29	19	13	21	12	7	7	4	1	2	
高鍋	183例	38	39	21	22	21	15	14	5	6	2	
高千穂	30例	1	-	3	4	2	5	7	1	5	2	
日向	175例	29	56	13	17	23	11	11	8	4	3	
中央	52例	8	10	2	14	4	5	5	4	-	-	
県外	22例	5	1	6	3	1	3	2	-	1	-	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は380人(定点当たり10.7)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

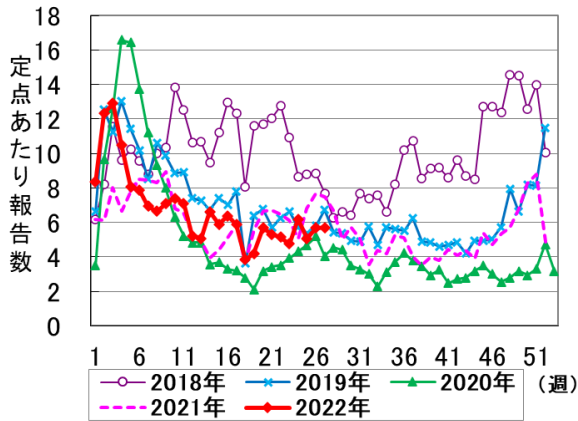
報告数は205人(5.7)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.6)の約0.9倍であった。日南(16.0)、小林(8.7)、都城(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

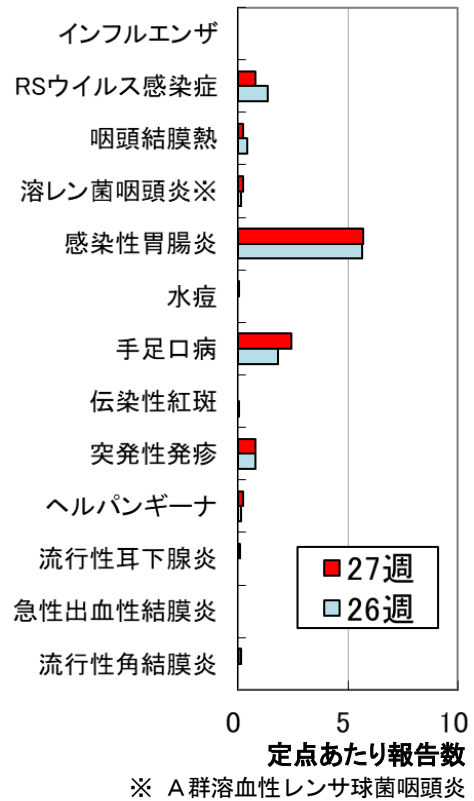
報告数は87人(2.4)で、前週比132%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(5.0)の約0.5倍であった。都城(7.0)、日南(5.7)、延岡(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

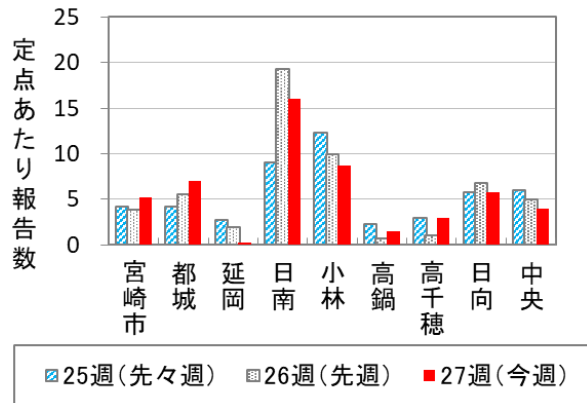
感染性胃腸炎 発生状況



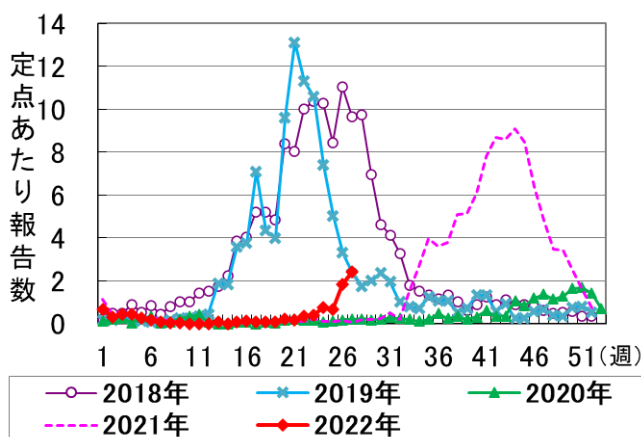
《前週との比較》



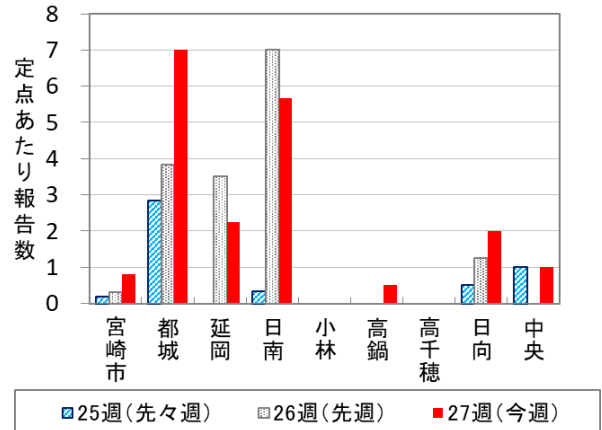
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(7.0)
延岡	なし
日南	手足口病(5.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*
・手足口病(5)

🇯🇵 全国 2022 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	220 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	87 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	チクングニア熱	3 例	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	7 例	レジオネラ症	76 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	4 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘(入院例)	1 例	梅毒	178 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5 例
	百日咳	6 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は 15,013 人(4.8)で前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.3)の約 1.1 倍であった。大分県(8.7)、鹿児島県(7.0)、埼玉県(6.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は 3,062 人(0.97)で前週比 162%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約 0.4 倍であった。福井県(4.7)、千葉県(3.6)、沖縄県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 9 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2022年 第27週(07月04日～07月10日)

疾病名	第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	49	28	8		10	1	3	2	4	
感染症	定点当り	1.36	0.78	0.80	0.00	2.50	0.33	0.75	2.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	9	5	1	3					
	定点当り	0.42	0.25	0.50	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性	報告数	5	9	1		6				1	1
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.14	0.25	0.10	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	204	205	52	42	1	48	26	6	3	23
	定点当り	5.67	5.69	5.20	7.00	0.25	16.00	8.67	1.50	3.00	5.75
水痘	報告数		1		1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	66	87	8	42	9	17		2	8	1
	定点当り	1.83	2.42	0.80	7.00	2.25	5.67	0.00	0.50	2.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	29	10	5	4	4	1	3	2	
	定点当り	0.81	0.81	1.00	0.83	1.00	1.33	0.33	0.75	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	8		1		7				
	定点当り	0.17	0.22	0.00	0.17	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		3	1		2					
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数		1		1						
	定点当り	0.00	0.17	0.00	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～27週)

2類感染症	結核	64例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	37例(1)
	破傷風	4例	百日咳	8例
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	57061例(3635)		

()内は今週届出分、再掲